

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野亘寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

第52回 自然保護研修会に参加して

井口光利（見附山岳会）

県山協主催の第52回自然保護研修会が、去る5月22日新潟市江南区の横越地区公民館で開催された。

例年なら1日目は講演、2日目は実践登山と2日間の日程で開催されていたが、近年、県内各地でも登山道の崩壊や未組織登山者の遭難が増えていたため、今回は一般登山者にも参加してもらい自然保護の大切さや事故防止を訴えて行きたいとの趣旨で、講演のみの日帰り研修で、参加者は



研修会場

約160人と会場は超満員であった。

研修は環境省羽黒自然保護官事務所 坂本万純さんの『飯豊の登山道整備について』

と関川村長 平田大六さんの『山の話あれこれ』の2本立てであった。

まず坂本さんの『飯豊の登山道整備について』では、私達が日頃慣れ親しんでいる飯豊蓮峰の御西岳付近・梶川尾根・丸森尾根の登山道の修復の様子をスライドで説明された。

保全活動は平成18年に登山道調査を行い、登山道が水道（みずみち）により掘削された状況から、裏磐梯のように裸地化してしまい、池沼までがなくなる恐れがあるため、平成19年度から先進地の巻機山を参考事例に登山道整備が始まったと報告された。

御西岳・天狗の庭（過去の幕営跡）の緑化ネットの敷設や梶川尾根・丸森尾根の修復は、登山道の流水をコントロールし、えぐるのを抑え荒廃を防ぐため、それぞれ現場に合った方法で整備を進めている。雑木を利用した土留や石積みで土砂の流出を防ぎ、そして緑化ネットの使用が有効である。人力で荷揚げされる緑化ネットに至っては1巻10kgだそうだ。これらはすべて飯豊連峰保全連絡会の皆さんの努力によって行われており、年々参加者が増加していると報告された。今後の課題は整備のスキルを学ぶ場として、研究機関と

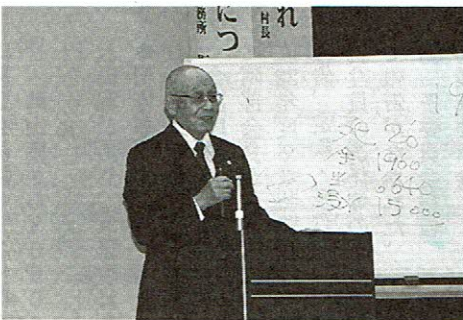


坂本万純さんの講演

連携しての協議検討を行う事が自然保護技術の発展につながるのではと話され、活動を続ける秘訣は、楽しさ&山への愛と結ばれた。

梶川尾根や丸森尾根は、よく利用させてもらっており、緑化ネットから若芽が伸びている脇を何気なく通過していたが、多くの人たちの努力の結果と改めて感じております。

次の講演は関川村の平田村長の『山の話あれこれ』である。平田さんはご存じのとおり関川村山の会の会長で飯豊連峰保全連絡会の代表でもある山の大大先輩であり、平



講演する平田さん

登山計画書を出しましょう

田さんの登山感をたっぷりと聞かせていただいた。

究極の自然保護は入山禁止が一番と会場を沸かせ、そういう訳にはいかなからそれなりのルールが必要と話され講演に入られた。

平田さんの登山歴は、1950年代のマナスル初登頂や井上靖の水壁が出版され、第2次登山ブームと言われたころに始まり現在に至っており、登山はスポーツ十アルファの領域であり、藤島玄氏の功績や、昭和39年開催の新潟国体山岳競技会場の飯豊山での苦労話等・・・。

最後に登山は3つの段階があり『第1段階』は人に誘われて登り頂上で感激。『第2段階』は自前の装備で、しかも自分の意思で登る。(ここまでは、まだやめる事が出来る二挫折ともいう。)

『第3段階』は山に登りながら色々な分野(写真・絵・民俗学等)にはまり込んでしまいうやめる事は出来ない。とユーモアたっぷりの講演であった。この研修内容をまた自分の山のポケットにしまい、今後の山行に生かしたいと会場を後にした。

新潟県山岳協会 平成23年度 第1回理事会議事概要



第1回 理事会

- ・ 開催日時 平成23年5月22日(日) 10時～11時46分
- ・ 開催場所 新潟市江南区「横越公民館」
- ・ 出席者数 34名
- ◆ 開会挨拶 阿部会長から、「ゴールデンウエークの遭難が多かった。これからも雪崩の発生が考えられ、注意願いたい。本日から始まる今後の協会の諸行事にご協力願いたい。」との挨拶があった。

◆ 議案審議

- (1) 第1号議案 副会長の担当委員会について 阿部会長から「副会長から各委員会を担当してもらおう」ととした。片桐副会長は総務委員会、森副会長は遭難対策委員会、自然保護委員会、稲田副会長は、競技委員会、ジュニア委員会は兼務、小林副委員長は、指導技術委員会、海外登山委員会は兼務、笛木副会長は高体連の担当とする。」と提案があり、承認された。
- (2) 第2号議案 加盟団体への、県山協に対する要望等のアンケート実施について 阿部会長から「新体制になったので、事業の見直しや加盟団体の要望を聞くため、アンケートを実施したい。」と趣旨説明があり、アンケート内容の案(加盟団体の問題点や県山協の運営や各委員会に対する要望等や協会からの情報を受ける担当者の住所、メールアドレス等)が示された。

これに加盟団体の会員数、ホームページアドレスを追加してアンケートを実施することで承認された。

(3) 第3号議案 北信越国体派遣選手について

今井競技委員長から「第14回新潟県クライミング選手権2011の結果にもとづき、少年男子は、頭師雅人、南雲純太、少年女子は、大月英理香、渡邊優梨菜、成年男子は、岩橋由洋、宮口直樹、成年女子は、片桐麻由子、瀧澤倫未を派遣したい。」と提案があり、承認された。

(4) 第4号議案 東日本大震災募金への対応について

井村事務局長から「日山協から依頼のあった東日本大震災募金へは、これまでの諸会議の際に募った27,500円と新潟峯友会から寄せられた39,000円に県山協からの20,000円を合わせ、合計86,500円を日山協総会が開催された5月15日に会長が持参した。

県体協からの依頼のあった「東北3県スポーツ友情募金」

については、新山協ニュースに掲載し、加盟団体から募り、また、これからの諸事業の際

に募金を依頼し、これに合わせ、県山協から30,000円を支出して対応したい。」と提案があり、承認された。

◆ 報告事項

(1) 日山協平成23年度通常総会出席報告 阿部会長から、日山協の平成22年度事業報告および会計報告、定款・施行細則の変更、新役員の選任等の議事について報告がなされた。

(2) 各委員会報告

・ 競技委員会 新潟クライミング大会で、参加者が少なく、赤字となっている。これは、ジュニア委員会の繰越金で対応した。手伝い要員の旅費が未払いである。この対応はいいがすべきか、質疑あり。23年度予算で、五十嵐基金の取り崩し10万円と県山協から3万円が競技委員会へ支出することが決議されているので、そこから支払うことで問題ない。

さらに不足が生じた際は、理事会で協議することが承認された。

・ 海外登山委員会

来年度の中国青海省との友好協定20周年を記念して、青海省を登山とトレッキングで

?

訪問する計画である。早期に参加者を確定させたい。ついには、広く声をかけて参加者を募っていただきたい。

・総務委員会
平成23年度賛助会員の募集状況は、本日現在で17名です。是非ご協力・ご賛助お願いいたします。

・指導技術委員会
岩登講習会(23・6・18)

19)の開催案内
スポーツ指導者養成講座共通科目I並びに山岳指導員養成講習会の受講募集

・遭難対策委員会
安全登山講習会(23・7・2)

2)3)の開催案内
・自然保護委員会
6月は環境月間です。気づいたことを報告願いたい。本日の講習会は、一般からの参加者を含め、100名を越えると思われる。

指導員で、所在不明の者がおり、来年の登録更新時期には、整理を行いたい。

・高体連
年間行事予定と24年度全国高校総体の登山大会を苗場、平標山系で開催の案内。高校総体では県山協への人員派遣要請はしない予定。

・会報編集

今月から、月末の発行が可能となった。各委員会の加盟団体あて発送文書もこれに合わせて、送付願いたい。

(3) ホームページの更新について
現在のホームページは、容量が少なく、今後は、県体協のホームページ内の県山協のページを有効利用することとしたい。今後、運用について関係者で検討する。

(4) 長野県山岳協会が50周年事業として、山岳図書資料館(仮称)を建設するための募金を実施している。友好団体でもあり、協力をお願いしたい。

長野県山岳協会と打ち合わせのうえ、募金の方法を後日事務局から連絡する。

(5) 十日町市に設置のクライミングボードについて
懸案であった十日町市に設置のボードを十日町市に寄贈することが決定した。

これに係るクライミングボード基金は大震災後の点検で1万円使用し、現在112、163円ある。これについては、後日執行部で用途を決定することが承認された。以上

文責 遠藤俊一

賛助会員入会

ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させて頂きます。

- *4月14日～5月30日現在の
ご入会、ご入金状況です。
- 伊藤 明德(高田ハイキングクラブ)
- 北村 猛(工友会)
- 中村 光信(いりやま岳友会)
- 阿部 信一(新潟山岳会)
- 土田 幸雄(長岡ハイキングクラブ)
- 山口 誠(柏崎山岳会)
- 丸山祐一郎(峽彩山岳会)
- 今井 浩二(新潟フリークラ イミングクラブ)
- 新潟県山岳協会
会 長 阿部信一
理事長 遠藤俊一
総務委員長 宮崎幸司

加盟団体各位

新潟県山岳協会 会長 阿部 信一

東北地方太平洋沖及び長野県北部地震の義援金について

標記について、4月9日に開催された新潟県山岳協会評議員会の席上等で募った義援金を(社)日本山岳協会指定の窓口へ送付いたします。義援金の内訳は次のとおりです。

新潟県山岳協会	金	20,000円
新潟峯友会	金	39,000円
新潟県山岳協会有志一同	金	27,500円
合 計		86,500円

東北3県スポーツ友情募金について

標記について、5月22日、横越公民館において開催された新潟県山岳協会主催の自然保護研修会会場で募った義援金を(財)新潟県体育協会窓口へ送付いたします。義援金の内訳は次のとおりです。

新潟県山岳協会	金	30,000円
新潟県山岳協会有志及び一般参加者	金	11,300円
合 計		41,300円

太平洋の彼方、東崑崙へ



隊 員 募 集

新潟県山岳協会・中国青海省登山協会 兄弟友好協定20周年記念行事の御案内

2012年、新潟県山岳協会は、中国青海省登山協会と兄弟友好協定20周年を迎えます。そこで、両協会が益々友好を深め発展してゆくことを祈念して「記念祝賀会」「記念登山」「記念トレッキング」を行う事にいたしました。つきましては、実行委員会を立ち上げたいと考えておりますが、隊員希望者だけでなく、興味のある方にも参加して頂き、青海省の山への理解を深めて頂きたいとおもいます。計画書の作成から準備まで、これから作業に入りたいと考えておりますので、希望者は 小林 までご一報下さい。

また今回の企画について、皆様のご意見なりご希望がありましたらお聞かせ頂ければ幸いです。

実行委員会 新潟県山岳協会

事務局 海外登山委員長 小林 重一

連絡先 〒950-2054 新潟市西区寺尾東3-5-19

TEL/FAX 025-260-1843 メール：manasulu98@yahoo.co.jp

— 「記念行事」 —

期 日 2012年 7月～9月上旬で調整中

(1) 記念祝賀会

登山隊及びトレッキング隊とも、日程の関係上、入山前に西寧市において青海省登山協会と合同で行いたいと思います。

(2) 記念登山 東崑崙山脈

● A案 未踏峰 (5660m)

2008年に初登頂した『老山II峰』の隣に位置し今回初登頂に成功すれば命名権があたえられます。例えば『老山III峰』にすればI～IIIの登頂になります。

● B案 玉珠峰 (6178m)

東崑崙山脈の盟主で青藏公路、青藏鉄道からも望める美しい峰。

いずれも期間は15日～20日で、期日と費用は35万円位で調整中。

(3) 記念トレッキング

期間は約10日位で費用は約30万円位。出来るだけ多くの方に参加してほしい為、内容については要望を取り入れ計画を立てたいと思います。

トレッキングに観光を取り入れたスタイルを考えています。本年は主旨を理解して頂いた上で、協会会員の意見、要望を重視し、計画書の作成準備にかかりたいと思いますので、皆さんの協力と参加をお願いいたします。

加盟団体各位

新潟県山岳協会会長：阿部 信一
 理事長：遠藤 俊一
 総務委員長：宮崎 幸司

第50回 全日本登山体育大会 福岡大会参加者の募集について

平素は、本会の事業運営に格別のご協力・ご支援を賜りありがとうございます。

さて、標記の全日本登山体育大会 福岡大会が下記のとおり、日本三大霊場英彦山を会場として、開催されます。主管団体の福岡県山岳連盟から、参加者募集について協力要請がございました。つきましては、各加盟団体におかれましては、会員へ周知の上、参加者の募集をお願いいたします。

なお、参加者について、主管団体へは本会で逐次報告いたしますので、8月20日(土)までに、下記へ参加者の住所・氏名・生年月日・希望コースご報告ください。

1. 日時 平成23年10月28日(金)～30日(月)
2. 日程
 - 第1日目 10月28日(金)
 - 11:30～13:00 受付(北九州国際会議場)
 - 13:30～14:30 開会式(北九州国際会議場メインホール)
 - 15:00～16:00 講演 北九州の歴史および英彦山の歴史について
講師 森 弘子氏
 - 16:30～18:00 歓迎レセプション 北九州国際会議場イベントホール
 - 18:30～20:30 英彦山会場対象者 青年の家までバス移動
 - 第2日目 10月29日(土)
 - 5:30 朝食(弁当)
 - 7:00～16:00 登山行動(長時間コースから順次出発)
 - 15:30～17:45 下山後、バスにて移動(Fコース16:00)
 - 19:00～19:30 閉会式(小倉ステーションホテル)
 - 20:00～21:30 お別れ会(小倉ステーションホテル)
 - 第3日目 10月30日(日)
 - 7:00 朝食・朝食後自由解散
 - 9:00 オプションルツアー出発(希望者のみ)
3. 登山コース (各コース55名) (行動時間は休憩、食事を含まない)
 - A. コース 英彦山三山縦走(行動時間 約5時間・難易度 5段階中4)
(青年の家) 北岳～中岳～南岳～鬼杉～玉屋神社～銅の鳥居
 - B. コース 英彦山パードライン～中岳(行動時間 約5時間・難易度 5段階中3)
(青年の家) 三ヶ月池～奉幣殿～中岳～南岳～鬼杉～梵字岩～銅の鳥居
 - C. コース 英彦山表参道(行動時間 約5時間・難易度 5段階中3)
(バス移動) 銅の鳥居～中岳～南岳～鬼杉～梵字岩～奉幣殿～銅の鳥居
 - D. コース 英彦山霊場巡り(行動時間 約3時間30分 難易度 5段階中1)
(バス移動) 銅の鳥居～十六羅漢～銅の鳥居～嶺の廟虚空蔵窟～弁財天～銅の鳥居
 - E. コース 平尾台(北九州)(行動時間 約5時間・難易度 5段階中3)
(バス移動) 吹上峠～貫山～青龍窟～茶ケ床～平尾駐車場
 - F. コース 秋の峰入りコース(北九州)(行動時間 約6時間・難易度 5段階中5)
(バス移動) 安入寺(龍王峡)～尺岳～福智山～焼立山～満ち干越え～鮎返不動尊～香春町後入道
4. 参加費 33,000円(宿泊費・全食費・大会中の輸送費・記念品・保険料を含む)
5. その他 総定員330名。定員になり次第締め切り。希望コースは、人数により調整あり。詳細が必要な団体には、主管山岳連盟の開催要項を送付します。下記の報告先へ連絡ください。参加申込者には、開催要項送付します。
6. 連絡先 〒955-0803 三条市月岡2-17-28 宮崎幸司
E-mail mai_miyazaki@helen.ocn.ne.jp

以上

平成23年度 新潟県山岳協会事業予定 7月～9月

	7月	8月	9月
総務委員会	25日(月) ●第58回弥彦松明登山祭り ●第54回高頭祭		
指導技術委員会	16日(土)～17日(日)、30日(土)～31日(日) ■23年度山岳指導員(スポーツク ライミング)養成講習会(神戸登 山研修所)	18日(木)～21日(日) ■23年度山岳指導員(スポーツク ライミング)養成講習会(千葉県 印西市松山下公園総合体育館)	
遭難対策委員会	2日(土)～3日(日) ●安全登山講習 会(加茂市) 1日(金)～3日(日) ■安全登山普及 及び指導者中央研修会(富山県)		16日(金)～18日(日) ■中高年安全登 山指導者講習会(秋田県鳥海山系) 23日(金)～25日(日) ■山岳レスキュー 講習会(富山県国立登山研修所 (予定))
自然保護委員会			●県環境課自然保護係懇談会(新 潟県庁(日程未定))
競技委員会	16日(土)～17日(日) ■北信越国体(長野県山之内町)	10日(木)～12日(土) ■ルートセッター 研修会(富山県南砺市)	3日(土) ●山口国体監督会議・結 団式(新潟市)
ジュニア委員会		14日(日)～16日(火) ■ジュニアオリ ンピック大会(富山県南砺市)	
その他		10日(木)～13日(日) ■「みんな集ま れ!ジュニア登山教室 in 立山」 (国立立山青少年自然の家)	
会報:編集委員会	25日 「新山協ニュース」発行 7月20日号(第286号)	25日 「新山協ニュース」発行 8月20日号(第287号)	25日 「新山協ニュース」発行 9月20日号(第288号)

編集こうき

▲北日本と長野北部を大震災が襲って3カ月が過ぎた。遅々として進まない被災地の現状でいろんな事がわかった。先進国の仲間入りをしていると思っただ日本がとんでもない後進国だったことだ。所詮、砂上の楼閣であった原子力発電所が復興の力を削ぎ脱力感をさえ覚えさせる。政局も党派を超えた強力なリーダーはいないのだろうか。この場におよんでも影で蠢き、右往左往するばかりの政局と状態が悪くなる一方の原発が復興の足を引っ張る。今はなんとか必死で持ちこたえている被災地の方達の気持ちが萎えてしまった時が、日本が日本でなくなってしまう時だ。ノーモアヒロシマ、ナガサキと核の被害者として訴えつづけてきた日本が一転して加害者となってしまった。

▲テレビで少し話題になっている、食べる「ラー油」。昔から似たようなものは行きつけの飲み屋が「ツキ出し」で出したものだが、今旬の根曲筍をつかって作ってみた。皮をむいた筍をサット茹でて硬い根元は取り除く。姿のままでも良いが、2～3cmに切っ

た物の方が味の沁み具合が良いようだ。簡単だ、金のボールの中で味噌と筍を良く混ぜあわせ、一味(七味でも良い)をたっぷりかけて置く。中華ナベかフライパンで熱したサラダ油にゴマ油もタッパーに加え、ボールの筍にジュッとかけまわす。味がなじむ様にかかるくまぜあわせ出来上がり。冷めたら広口のコーヒーのびんなどで保存して置く。アタを抜いたワラビも同様すると美味しい。好みて少し甘味を加えてみても良い。1時間もねかせれば、ム、ム、ウーんだ。

会報・編集 浅野

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第552号 一社代理店(社) 日本旅行業協会会員
本社:新潟県長岡市春日1丁目3番5号
<http://www.uks.co.jp>

- ☐長岡営業所 〒940-0004 長岡市春日1丁目3番5号 ☎(0258)33-7123
総旅行業副主任者 森 誠樹
- ☐新潟営業所 〒950-0816 新潟市山3丁目2番11号 ☎(025)246-2266
総旅行業副主任者 中島 豊

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30～PM8:00水曜定休

<http://www.parmark.co.jp>

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134
営業時間/平日10:30am～8:00pm 休日10:30am～7:00pm